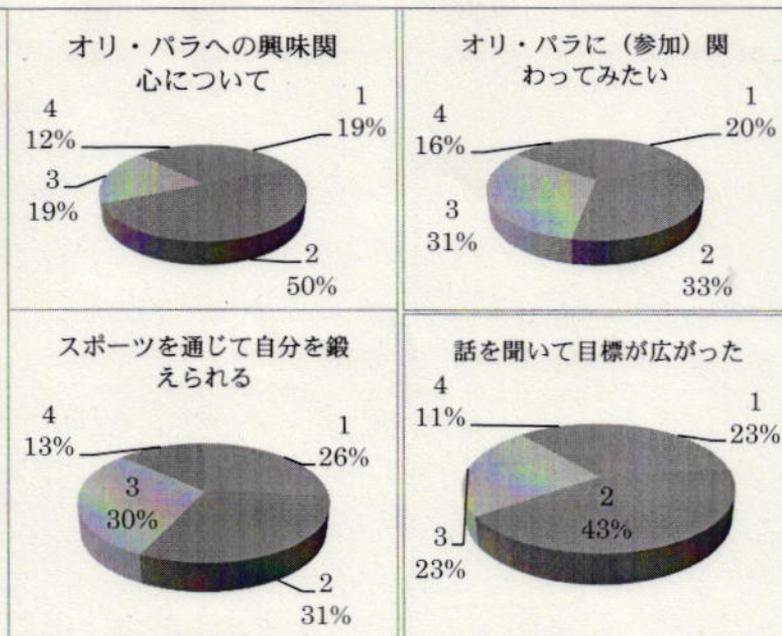


事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 京都府 京都市 】

1 実践テーマ	【 V 】
2 実施対象者	京都市立八条中学校 全校生徒（1年生から3年生 育成学級含む）
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名（ 保健体育 ） ② 行事名（ 講演会 ） ③ その他（ ） (2) 地域における活動 ① イベント名（ ） ② その他（ ）
4 目標 (ねらい)	2020年に控えている東京オリンピックに向け、より一層スポーツに関する興味、関心を高めることと、スポーツを通じて粘り強く物事に取り組む意欲や姿勢を養う。
5 取組内容	(保健体育の授業を通しての啓発活動) 授業での話題提供など通年で実施。 (講演を通しての啓発活動) 11月20日(月)6時間目の時間を利用し、全校生徒対象に講演会を行う。内容は以下である。 1988年 韓国(ソウル)で行われた陸上競技、走幅跳代表選手、柴田博之氏を招き、自身の選手時代の経験を語ってもらう。 また、現在は洛南高校陸上部の指導者とし、活躍されており、先日男子100m日本記録を樹立した桐生祥秀選手を育成するなど、オリンピック等、世界で活躍する選手たちの取り組み姿勢などを語ってもらう。 講演を聴いて、生徒にアンケートを実施し、2020年東京オリンピック・パラリンピックへの意識付けや興味関心へとつなげていく。
6 主な成果	講演会終了後、全校生徒にアンケートを実施した。 アンケート内容は4項目。 I オリンピック・パラリンピックの興味関心について II オリンピック・パラリンピックに(参加)関わってみたい。 (役員やボランティアなどでも) III スポーツを通じて自分を鍛えられる。(鍛えたい) 1. 話を聞いて自分の目標や夢が広がった。 以上の項目を A とても関心がある(とてもそう思う) B ある程度あてはまる(ある程度そう思う) C あまり関心がない(あまりそう思わない) D 関心がない(そう思わない) で、集約してみた。



I, については6割以上の生徒がオリ・パラに関して興味を持っていることがわかる。II, については半数の生徒が関わりたい気持ちがあるが、まだまだオリ・パラに関しては遠い存在でもあるように感じる。III, に関しては運動部活動を行っている生徒はスポーツを通じて自分を磨く意識があるように感じる。IV, に関してはオリ・パラだけでなく、自分自身で目標を持ち、あきらめず取り組む事が大切だと感じてくれた生徒が2/3を占めている。

(生徒感想より)

- ・すべてのことには、関わることに意味があるということがわかった。私ももっと勉強、趣味を頑張りたいです。
- ・僕は陸上部だから言われたことを意識してこれから練習していく。生活を変えていこうと思いました。
- ・第1回目のオリンピックの運営について興味ができました。2020年の東京オリンピックでは高校2年生なのでボランティア活動などを通してオリンピックに関わりたいと思いました。もし、行けるなら会場で試合を見たいです。
- ・スポーツは人間性を育てたり、大きな目標に向かって努力をどれだけするかが大切だとわかりました。

7実践において工夫した点(事業の特色)	講演での雰囲気作りなど。
8主な課題等	健常者のスポーツだけでなく、障がいを持つ人がスポーツにどのように関わっているかの理解や共生に向けての意識の向上。
9来年度以降の実施予定	2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けて、教科を超えた年間計画作成を行い、日々の生活の中でスポーツを通して共生社会の大切さを浸透させていきたい。